

令和7年度全国学力・学習状況調査 質問紙調査の概要

秩父市教育委員会 教育研究所

小学校

【児童質問紙】

- 将来の夢や目標を持っている児童の割合が、県・全国より高い。
- 平日読書をしている児童の割合が、県・全国より高い。
- 休日1時間以上勉強をしている児童の割合が、県・全国より高い。
- ▼毎日同じくらいの時刻に寝ている児童、起きている児童の割合が、それぞれ県・全国より低い。
- ▼国語の授業が好き、よく分かると肯定的に答えた児童の割合が、県・全国より低い。
- ▼算数の授業がよく分かると肯定的に答えた児童の割合が県・全国より低く、25.0%が否定的である。
- ▼授業でICT機器をほぼ毎日使用した児童の割合が、県・全国よりも顕著に低い。
- ▼学校の授業時間以外にICT機器を勉強のために全く使っていない児童の割合が、県・全国より高い。

【学校質問紙】

- 言語活動について、国語科を要としつつ、各教科の特質に応じて、学校全体としてよく取り組んでいる学校の割合が県・全国より高い。
- 算数の授業において、「問題の答えを求めさせるだけではなく、どのように考え、その答えになったのかなどについて、児童に筋道を立てて説明させるような授業」や「学習上つまづいた児童に対する対応」をよく行った割合が、県・全国より高い。
- 個々の教員が自らの専門性を高めるため、校外の教科等の教育に関する研修会等に定期的・継続的によく参加している学校の割合が県・全国より高い。
- 教科等の指導にあたって、地域や社会で起こっている問題や出来事を学習の題材として取り扱った割合が、県・全国より高い。
- 児童に対して、学習評価の方針を児童に示した上で、児童の学習評価の結果を、その後の教員の指導改善や児童の学習改善に生かすことを心がけた学校の割合が県・全国より高い。
- 教育課程の趣旨について課程や地域との共有を図る取組をよく行っている割合や地域学校協働活動の仕組みを生かして、保護者や地域住民との協働による活動をよく行った割合が、県・全国より高い。
- ▼児童は熱意を持って勉強していると思うと回答した割合が、県・全国より低い。
- ▼「授業では、課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むこと」や、「学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えること」ができていると思う割合が低い。
- ▼児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器を授業で「ほぼ毎日」使った割合が低い。
- ▼上記ICT機器を「発表・表現する場面」や「児童同士がやりとりする場面」で週1回以上使用した割合が、県・全国より顕著に低い。
- ▼上記ICT機器を、毎日持ち帰って家庭で利用できるようにしている割合や、不登校児童に対する学習活動の支援に活用している割合が、県・全国より低い。
- ▼近隣等の中学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定等、教育課程に関する共通の取組をよく行った学校はなかった。

中学校

【生徒質問紙】

- 国語の授業で、「先生は、あなたの良いところや前よりもできるようになったところはどこかを伝えてくれる」ことが「よくある」「たまにある」と肯定的に答えた生徒の割合が、県・全国より高い。
- 理科の授業では、「観察や実験をよく行っている」「自分の予想（仮説）をもとに観察や実験の計画を立てている」と答えた生徒の割合が、県・全国より高い。
- ▼自分には良いところがあると肯定的に答えた生徒の割合が、県・全国より低い。
- ▼学校へ行くのは楽しいと答えた生徒の割合が県・全国より低い。
- ▼国語・数学の授業が好きな生徒の割合が県・全国より低い。
- ▼授業以外の勉強時間が、平日で1時間以上、休日で2時間以上の生徒の割合が、県・全国より低い。
- ▼授業で ICT 機器をほぼ毎日使用した児童の割合が、県・全国より顕著に低い。
- ▼国語の問題で、全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した割合が県・全国より低い。

【学校質問紙】

- 生徒は熱意を持って勉強していると思うと回答した割合が、県・全国より高い。
- 生徒一人一人に配備された PC・タブレットなどの ICT 機器を授業で「ほぼ毎日」使った割合が高い。
- 家庭学習について、家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えることや、自分で学ぶ内容や学び方を決めるなど、工夫して取り組めるような活動を行うことをよく行った割合が、県・全国より高い。
- ▼上記 ICT 機器の「発表・表現する場面」や「生徒がやりとりする場面」では、「ほぼ毎日」使った割合が、県・全国より顕著に低い。
- ▼教科等の指導にあたって、地域や社会で起こっている問題や出来事を学習の題材として取り扱った割合が、県・全国より低い。
- ▼数学の授業において「学習上つまづいた生徒に対する対応」をよく行えた割合が、県・全国より低い。
- ▼上記 ICT 機器を、毎日持ち帰って家庭で利用できるようにしている割合が、県・全国より低い。
- ▼近隣等の小学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定等、教育課程に関する共通の取組をよく行った学校はなかった。